



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies

京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages

『支援を必要とする学生向け インターンシップ事業』に参加して

京都外国語大学・京都外国語短期大学

キャリアセンター 給田 佳名子

健康サポートセンター 障がい学生支援室 梅本 直



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies
京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages

京都外国語大学・京都外国語短期大学



大学（2学部）

外国語学部 10学科

国際貢献学部 2学科

短期大学（夜間）

大学院

学生数：4,876人



担当部署



キャリアセンター

- 長期的な支援体制で、希望の進路に進めるようバックアップ
- 就職指導、各種講座の実施、インターンシップの実施など
- 卒業後も継続支援を実施

連携



健康サポートセンター 障がい学生支援室

- 健康サポートセンター [保健室、学生相談室、障がい学生支援室]
- コーディネーター2名（専任1名、非常勤1名）、事務職員（派遣）1名
- 相談、支援や配慮の調整、学内外の関係者との連携、イベントの実施
- 「ツナグ」を大切に、切れ目のない支援を行っている



支援の取り組み

2011

キャンパスジョブ

- ・ 経済的支援を目的とした学内アルバイト
- ・ 清掃、パソコンでのアンケート入力等
- ・ 2012年度【相談室枠】開始
※少人数グループ
面接・ふりかえり
- ・ **2015年度で終了**

2013

キャリアセンターと連携した就職支援

- ・ 個別での就職準備支援
- ・ 外部就労支援機関との連携
- ・ 就労移行支援事業所等のインターンシップ
(有料)

2016

「障がい学生支援基本指針」の制定

- ・ キャンパスジョブ終了以降、学内での支援は、個別相談をメインに
- ・ 学生の事例を通じて、学外の支援機関、就労移行事業所との連携が活発に

2018

寄り添いインターンシップ開始

- ・ **障がい学生支援室開室**もあり、身体障害の学生も含めて、サポートする体制が整う

現在

- ・ 寄り添いインターンシップ4年目
- ・ 障害のある学生対象のオンラインキャリアガイダンス
(保護者参加可)
- ・ キャリ★カフェ



障害学生の就職支援における課題

「自己理解」、「働くイメージ」を深める機会の少なさ

- 学業優先になる学生、就労意欲のない学生
- アルバイトやインターンシップの経験がない

ミスマッチな職業、進路選択

- 現実的な職業、進路選択ができない。
- 本人、保護者の「就労への想い」のズレ（手帳の取得も含む）
- 障害のある学生にとってロールモデルの少なさ

就職活動の進め方が分からない

- 志望動機、学チカ、自己PRが書けない
- グループディスカッションや面接の場面が苦手
- キャリアセンターに行けない



障害学生の就職支援における課題

支援側の課題

- 人員やリソースの確保（支援の継続性）
 - 障害のある学生の就活支援に関するノウハウのなさ
 - 企業や外部支援機関とのパイプ作り
- ⇒ | 大学だけで障害学生をサポートしたり、理解のある企業を開拓するのは限界

支援の移行の難しさ

- 大学から社会の支援につなぐタイミングの難しさ
 - 卒業後のフォローの難しさ（どこまで大学が関わるか）
- ⇒ 早い段階で、学内外の支援を利用している学生の移行は、比較的スムーズな印象

大学の中だけでなく、社会とのつながりの中で学生を支える



寄り添いインターンシップの目的

経験する

- ・働くために必要な準備を経験する
応募の仕方、ビジネスマナー、
自己分析（自己理解）
- ・会社の中で働くことを経験する
- ・うまくいくことも、うまくいかないときに工夫することも経験する
- ・周囲の理解や配慮のある環境での働き方を経験する

気づく

- ・自分の得意不得意に気づく
（経験する中で、実感を伴った
気づき）
- ・働く上で必要な事に気づく
（企業の視点、求められること）
- ・働いている人たちに気づく
- ・就職活動を行う上での新しい
選択肢に気づく（手帳の取得）

つなぐ

- ・学生の経験や気づきを丁寧に
振り返る
- ・振り返った内容を学生生活、
次の自立のステップにつなぐ
- ・医療機関、外部の支援機関に
つなぐ

インターンシップの流れ

STEP 1



募集と選考

【募集方法】

- ・健康SCで声かけ
(本人、保護者)
- ・学内での広報
(ホームページ、ブログ、web campus等)

【選考】

- ・応募書類提出後、キャリアセンターと障がい学生支援室のスタッフによる面接

STEP 2



準備

- ・事前の企業訪問
(本人・キャリアセンター・障がい学生支援室)
- ・事前のオリエンテーション
(初年度のみ学内で実施)



STEP 3



インターンシップ

- ・基本は5日間
- ・初日と最終日にスタッフが同行(最終日はふりかえり)
- ・学生は毎日日誌の記入
(可能な範囲でコメント)
- ・インターンシップ期間中はメール、チャット、TEL等で必要に応じてフォロー

STEP 4



ふりかえり

- ・実習日誌、評価シートに基づいてふりかえりを行う。
(初年度のみ発表会を実施)
- ・後日本人と個別面談を行い、ふりかえり、今後の学生生活、就職活動の目標等を確認
(必要に応じて、保護者にもフィードバックをしている)





インターンシップ実施状況

年度	参加者数	実習内容	募集方法	事前学習	ふりかえり
2018 (夏)	3名 (2年)	<ul style="list-style-type: none">・事務補助・受付業務・荷受け業務・社内カフェ業務	直接声かけ	外部講師に依頼し、 事前学習会（2日間） ※キャリ★カフェ	ふりかえり 発表会
2019 (夏)	2名 (1年、3年)	<ul style="list-style-type: none">・総務業務補助・営業補助・介護職（補助）	直接声かけ	ジョブパークの オリエンテーション	個別面談で ふりかえり
2020 (春)	1名 (3年)	<ul style="list-style-type: none">・品出し、補充	直接声かけ 学内広報	ジョブパークの オリエンテーション	個別面談で ふりかえり
2021 (春)	2名 (3年)	<ul style="list-style-type: none">・清掃・ライン作業・事務作業	直接声かけ 学内広報	ジョブパークの オリエンテーション	個別面談で ふりかえり



参加した学生の声

得意・不得意

- ・数字を扱うこと、記憶力などが仕事でも強みとしていかせるとわかった。
- ・アルバイトでしたいと思っていたことが、実は自分には向いていないと思った（したいとできるは違う）。

自信

- ・自分は何もできないと思っていたけれど、工夫をすればできることがあると気づいた。
- ・接客は向いていないと思っていたが、緊張はしたけど、話しかけられると自然と笑顔が出た。案外楽しかった。

働くイメージ

- ・一つ一つの仕事の価値やつながりを意識することができた。
- ・できないことだけでなく、強みを生かして進路選択をしたいと思った。

障害の伝え方

- ・自分の障害の内容を、分かりやすく言葉で説明できるようになった。
- ・苦手なことだけでなく、リカバリーできる内容も伝えておくとよいと気づいた。

支援を受けるメリット

- ・最初障害を開示することに不安が大きかったが、やりづらい、助けてほしいと伝えることに罪悪感が少なくなった。
- ・周囲に理解してもらっていると、働けるイメージがついた。

体調管理・自己管理

- ・体を動かす仕事の方が向いているかと思ったが、思ったより体力がないことに気づいた。
- ・実際の働く時間だけでなく、通勤時間も含めて考えないといけないと思った。
- ・安定して働くことが必要だと気づいた（自己管理の大事さ）。

※自分自身の得意不得意、支援を受けるメリット、職業適性について考えるきっかけとなった



効果と課題

1

多くのインターンシップ受け入れ企業があり、
様々な職種、実習内容が経験できる

2

実習先企業からのフィードバックが、働く上での課題や
自分の良さに気づくきっかけとなる
(その後の自信、行動の変化につながるケースも)

3

相談の場面では分からない、学生の一面を見ることが出来る

4

インターンシップや勉強会を通じた大学と企業の出会い
(企業の視点、大学や学生に求めることを知ることが出来る)

5

学内でのキャリア支援の新しい取り組み
(経験の共有)

課題

低回生のインターンシップ
学生生活、学業で精一杯、
働くことへの意欲が低い
→準備ができていないまま
体験させることに

低回生向けにハードルの低いプログラム

例：1dayインターンシップ（オンライン含む）、
会社見学等

上回生向けに将来を意識したプログラム

例：5日以上長期インターンシップや、
複数回参加可能なプログラム



京都外国語大学
Kyoto University of Foreign Studies

京都外国語短期大学
Kyoto Junior College of Foreign Languages



ご清聴ありがとうございました！